

☆10月・11月・12月・1月の活動☆

採集観察会のお知らせ

第三回 10月23日(日) 10時集合。ちなみに第四回は2月19日(日)

集合地点：神奈中バス停「野津田車庫」(小田急線町田駅西口またはJR線横浜線町田駅中央口下車。町田バスセンター1番「野津田車庫行き」に乗車。

20分後終点下車)。“とても観察によいところです。みなさんぜひ来訪を”

世話人は小峰光弘 TEL.0422-22-8647

合同例会のお知らせ

11月20日(日) 10時から、大橋区民会館会議室(JR渋谷駅から大橋経由のバスにて「大橋」下車。徒歩3分)。出欠は同封葉書にて願います。

世話人は桑原幸夫(多足類懇話会)。葉書の宛先は熊田憲一まで。

短報 アリの卵を食べるクモ

稻葉茂代

クモを飼育する時、餌を確保するのはとても大変です。ショウジョウバエは確かに手軽ですが、飼育びんが少ないと数頭しか発生しない日があり、逆に飼育びんが多いとけっこう臭いものです。クモの幼体にはショウジョウバエは大き過ぎることもあります。

そこでトビムシも採集していますが、ツルグレン装置であまり取れないこともあります。実験室の片隅に土をいれたバットを置いておくと、安定的な平衡系が出来て、そこでトビムシが発生してくれます。ただこれもいつカビでやられてしまうか心配です。

クモ餌の確保のためにショウジョウバエの飼育びん、ツルグレン装置、トビムシ発生用バットが並んでいます。これだけあれば餌が切れることもないだろうというわけです。ここにもうひとつ新手の餌が加わったのはつい最近です。

城内高校生物研究部では校内のアリの調査もしているので、クモの採集のかたわらアリの巣に出会ったときにはそれを持ってきてしまします。アリが運んでいる卵を横取りするクモの話を池田先生に聞いているうち、出のうしたばかりのクモの幼体はアリの卵を食べないかどうかが気になってきました。そこで試しにやってみたところ、ワシグモの幼体はこれに飛びついて食べるではありませんか。ウラシマグモの幼体もアリ卵を食べました。ただし、ウラシマグモの方は偶然だったようです。その後、ほとんど食いつかないからです。

ワシグモの幼体は自分の体の半分以上もあるアリの卵を抱え込んで、1日1個食べてしまします。これで餌の確保が少し楽になりました。アリの卵は掘れば手に入るからです。ただ、いつでもあるとも限りませんが。

いまのところ、アリ卵は孵化直前の幼虫の形になっているものでも構いませんし、卵そのものでも構いません。動かなくてもクモはちゃんと食べるのです。

ハエトリグモの中にはけっこう他のクモや虫の卵を捕食するものが知られているそうです。また、シラヒゲハエトリの母親は自分の産んだ卵をすっかり食べてしました。卵にはクモを魅きつける何かがあるのでしょうか。(談:編者記録)

追伸、63号の絵を描くワシグモはエビチャヨリメケムリグモでした(加村同定)。

日本産新亜目の一新種と一新記録種の記載

新海 明

Omoshiromorphae ガンググモ亜目

Keyholdidae キーホルダーグモ科

Keyholda tateshinaensis Shinkai, 1988 n. sp.
キーホルダートタテズグモ

本種は1988年1月に筆者の友人が長野県蓼科において採集してきたものである。体長は4cmで全身褐色で、腹部下面に体節があった(図-1)。ガンググモ亜目としてはめずらしく、頭胸部と腹部に分かれ、歩脚も4対で全て頭胸部からきちんと出ていた。ただし、眼は2個でその中が白と黒の部分にわかれていたのがなんともいえず可愛らしい。本種は腹部末端に鎖をつけており、売店のキーホルダー売り場より採集されたこと、また腹部下面に体節が認められたことから、キーホルダートタテズグモと名付けた。けれども、地中生活はできそうになく、生息環境はやはり腰のあたりから吊り下がっているのが最も適しているようである。

今後、注意してキーホルダー売り場をのぞけば各地から続々と発見される可能性がある。ちなみに、売店の人に引渡を求めたところ400円を要求されたとのことであった。

Puppetidae ユビニンギョウグモ科

Puppet spider (S & S Sales)
パピットグモ

本種は1988年3月に筆者が高校を退職する際に、生徒から贈られたものである。採集地は東京都多摩市のデパートのおもちゃ売り場とのこと。

体長は約20cmであり、全身に綿毛が密生していた(図-2)。頭胸部と腹部の境は明瞭ではないが、頭胸部は淡褐色でその他は黒色であることから区別は可能。ガンググモ亜科の特徴通り、歩脚4対のうち第1脚は頭胸部より、他の3対は腹部より出ていた。眼は2個のみで前種のように白と黒の部分に分かれていた。

本種は腹部末端に穴が開いており、そこから体内に手を挿入することができる。この穴は各歩脚内部にまで通じており、そこまで指を入れて指遊びをすることができる(ただし、

人の指は五本しかないので全ての脚を動かすことができない）。このような特徴からパピットグモと名付けた（Puppet：指人形）。

本種の産地はアメリカのカンサス州である。近年の貿易の拡大に伴って、最近になり我が国に侵入してきた屋内性のクモであろう。なお、買ってきた生徒によると、これよりもさらに大きなクッション形のクモもあったそうだが、「タッチの差で買いそなった」とのことであった。今後、各地のデパートのおもちゃ売り場などで本種や近縁の他種の発見がまたれる。

購入希望者のために産地連絡先を記す。

S & S Sales
217 Neosho Burlington,
Kansas 66839, U.S.A.



図-1



図-2

短報 ヤハズハエトリの成長 池田博明・篠田謡子

出のうしたヤハズハエトリを篠田が飼育したところ、成体♀になった。ひとつのデータとして記録しておく。なお、餌は過剰なほど与えた。餌の取りだめが面白いので、そのことも記録しておく。

1986年6月15日、神奈川県平塚市の相模川河畔でヤハズハエトリの卵のうを採集した。7月9日に卵のうから出のうしていた。7月15日、子グモ同士は威嚇しあっている。

脱皮は7月28日、8月6日、8月27日に確認している。8月27日の脱皮での成体になった。

餌の捕獲法は第1・2脚を前方へ、第3・4脚を後方へ、脚を開いて体位を低くして身構え、ハエの動きを観察しながら、すきを見て飛びつき、ハエを1匹くわえて、他のハエを右の第1脚で捕らえる。1匹目を食べ始め、2匹目は脚で捕らえたまま、3匹目にかみつき捕らえる。死んだハエは捕らえない。腹部と頭部半分を食べ、翅はあまり食べない。

S氏より

ご苦労様です。談話会で一番目立たぬ者です。

毎日、雨ばかりに、仕事以外は、寝て暮らしています。池田さんが談話会の通信を担当されると聞き、大変でしょうと、思わず声をかけてしまいたくなるような今日この頃です。私もできる限り協力したいなと思います。

と言っても、特にいい話がある訳でもないですが。

今、私はKISHIDAIAに載せられる様な原稿を書いています。昔から、書け、書け、書け、書け、と言われ続け、頭ばかり搔き、出せ、出せ、出せ、出せ、と言われ続け、舌ばかり出していましたが、先日、仕事が休みの日に、その日、たまたま雨で、どこへ行く宛もなく、日頃からデートをしてくれる相手もいない私は、一人、昼間から布団を敷いて、「さあー、寝るぞ」と横臥したものの、なかなか眼れず、仕方なく手近にあった日本書紀を開き、フムフムと読みふけておりました。

すると驚いた事に、その昔、全く理解できなかった歌が、瞬時のひらめきとともに、理解できてしまったのです。それも国文学的、文法的解釈を遙かに超越し、自分でも信じられないくらいあっさりと、解いてしまったのです。

もし、自分の理論が正しいとするなら・・・おちおち寝てはいられないとばかりに、あわてて飛び起き、ウインド・ブレーカーに着替え、傘のない貧相が染み込んでしまった私は、雨の中を走って古本屋へ直行し、目指す資料を探し、値切りに値切って手に入れ、調べに調べまくり、はたまた、自称国文学者宅へも、なだれ込み、意見を絞り取れるだけ、絞り取り、自分の理論が（それほど大袈裟なものではないが）、その論が正しいことを証明した！と、本人は思っている。

ただ、今、その論を頭の中で、よく整理もつかぬまま、ズルズル引き出して行くうちに、どうしても腑に落ちない点が出てくる。

そんな訳で、もう二回も書き直した。

いつ書き上がるか、乞う御期待。ちゃんちゃん！

1988.7.2

片岡佐太郎氏より

通信63号ゆっくり読ませていただきました。内容豊富でいつも感心いたしております。誠に有難うございました。時たま談話会にも出なければと思うのですが、機会を持てなくて残念です。梅雨期でほとんど毎日雨です。晴れ間をみて市内を歩いていますが、いつも顔振れの虫どもです。それでもゆっくりその動作を見ていることができて樂しみです。皆様もどうか健康にこの仕事を長くお続け下さい。御健勝祈ります。 1988.7.6

松本誠治氏より

談話会通信No. 63, 拝受いたしました。ご多忙中の作成、ご苦労をお察しいたします。折り目側の余白は大変といいます。穴を開けると字が無くなってしまうのには困っていたからです。ただ出きることなら、3-6ページは、(1・2)(7・8)ページの間にはさめるようになると、うれしいのです。ホチキスでとめたりすると、サビが出て困るからです(ホチキスで止めず、ノリ付けすればいいことに書いていて気がつきましたので、今回の体裁でもいいです)。

SCRAPもうれしいです。通信のページに入っていてもよかったです、このような形になっているのもいいです(私もスクラップシートを作っていますので)。これも出来るごとなら、文献と同じくらい出典がくわしいといいと思います。発行所・ページ(新聞なら面)があるといいと思います(ないものもあったので)。

勝手なことを書きました。お許し下さい。 1988.7.6

会員異動(改姓・転居)

佐藤(大野)智子 〒120 東京都足立区足立1-13-16 コーポ大川102
萩本(井上)房江 〒241 神奈川県横浜市旭区本村町95-12 宮代アパート

編集者より

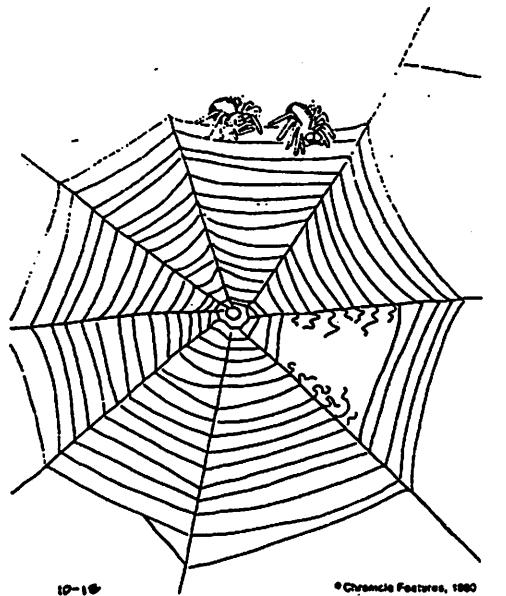
読者のお便りは編集の励みになります。皆様が読んでくださっている証拠だからです。こうした方がいいというご意見もありがたいものです。今後ともよろしくお願ひします。ページだけについては「追込み」で作る関係上、順に4ページで区切る体裁でやっています。間にはさみ込む形だと、編集が完全に終わらないと印刷にかかりません。裏表に印刷する関係で1枚刷ってはワラ判紙をはさんでインクを吸い取っているので、前の方から編集を終えて作っていく方が、仕事の合間にやれるのです。スクラップは2次資料ということで、別紙としました。最近の技術ではワラ判紙に刷ってもほとんど遜色がないし、片面刷りなので再複写するときも裏面が透けないで複写出来ると思います(池田)。

お知らせ KISHIDAIAや通信に原稿をお寄せ下さい。

会誌編集: 谷川明男 〒223 横浜市港北区新吉田町1523 TEL 045-541-2294

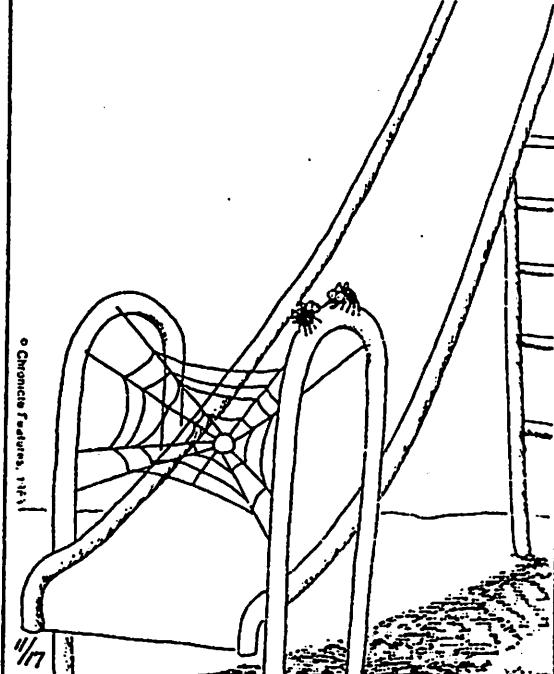
通信編集: 池田博明 〒258 足柄上郡大井町金手1099 TEL 0465-82-2105

THE FAR SIDE/GARY LARSON



Don't take it so hard . . . everyone's got
a story about the one that got away.

THE FAR SIDE/GARY LARSON



If we pull this off, we'll eat like kings

The Far Side

ラーソンのマンガは八木沼健夫氏が
アメリカで集められたものの一部です。
英語の先生に伺って、訳してみました。
(池田)

左上「そんなに深刻に考えなさんな。
誰にだって逃げたやつの話はあるものさ」

右上「こいつをうまくやれば、俺たち
ぜいたくに食えるぜ」

左下. これは分かりました. クモの網
の中に「Good Bye, World」
とあります. クモは首をつっています.

「the far side」とは
「向こう側」とでもいう意味か.

Larson

WATCHING 新海栄一さん、『ウォッキング』に登場

10月4日(火)、NHKテレビの『ウォッキング』を見た子供たちが、「新海さんだよ」と言い出したそうです。この日、登場したクモはミズグモです。私は出張中で見られなかったので、子供たちに話を聞きました。

—クモが空気部屋を作るところがあった。

—エサを取ったら、ミズグモはその空気部屋の中に入って食べるんだよ。

—欲張って足を広げたクモが空気を落としてしまったんだ。

—他のクモの空気部屋を取ろうとしたやつもいた。でも、残念ながら取れなかった。

—取られてしまったものもあったよ。

—取られたクモは弱ってしまうんだって。

—赤ちゃんが生まれて、赤ちゃんも空気部屋を作るんだよ。

—5匹くらい、赤ちゃんが映ってた。

撮影の様子を新海さんに電話で伺いました。以下に私の文責で記しておきます。

場所は北海道の霧多布で、制作はNHK釧路放送局。地方局の企画はなかなか通りにくく、釧路局でも『ウォッキング』は二度目とか。局のスタッフが一丸となって撮影にあたったそうです。主な撮影が行われたのは8月14日から17日。一部は現地撮影ですが、ほとんどは釧路局のスタジオで撮ったものです。小番組のための30坪くらいのスタジオに水槽が8個。ミズグモのすべてを撮影しようと局員総出でがんばったようです。

産卵の瞬間だけは撮れなかつたのですが、それも3時間おきに局員が交替で監視にあたっていて、いざという時には真夜中でも近くのホテルから新海さんが駆けつける体勢になっていたそうです。17日の朝、新海さんが見たところ、昨日は無かった卵のうが出来ていたとか。新海さん「卵のうがあるじゃないですか」。監視していた局員「えっ! これですか。ほんとうだ。気がつかなかつたなあ」。新海さんが帰られた後もスタッフは努力し、9月に出のうした子グモを見事に撮影したわけです。子グモはけっこうたくさんかえったとか。カメラに全部は映りきれなかつたんですね。

1988.10.15. 池田記

加藤輝代子さん、『素晴らしい世界旅行』に出演

もうひとつ、テレビの話題をお知らせします。10月16日放映の予定が延期されましたので、みなさんもご覧になれるかもしれません。日本テレビの『素晴らしい世界旅行』にクモが登場します。ガイド役は加藤輝代子さん。コガネグモやキムラグモなどの生態の他、圧巻はムツトゲイセキグモの「投げ縄」捕虫。マムシが恐いなどと、視聴者の偏見に迎合するセリフを言わされて、疲れ気味だった加藤さんはホンモノの感動! 「ムツトゲさん」と声をかけるとクモは声援に応えて、粘球をグルグル回すのだそうです。話を聞いた私はおかしくて涙が出てしました。

陰のスタッフで活躍された新海栄一さん、貞元巳良さん、菊屋奈良義さん(菊屋さんが部屋に作ったキムラグモのアパートがテレビに映るかもしれません)、ご苦労さまでした。

1988.10.15. 池田記

会計だより 郵便振替口座 横浜 7-74885 東京蜘蛛談話会

(敬称は略させていただきます)

△費支領 会員登録 昭和63年6月～10月上旬 (一般2800円・学生2000円)

昭和60年(1985年)度

浜村 徹三・松浦 佑司・

昭和61年(1986年)度

浜村 徹三・下謝名松栄・松浦 佑司・蓮沼 克巳。

昭和62年(1987年)度

浜村 徹三・利岡 匠・高田 勝・下謝名松栄・松浦 佑司・蓮沼 克巳。

昭和63年(1988年)度

近藤 昭夫・菅波 洋平・浜口 哲一・小針 廣・吉田 喬・浜村 徹三・

利岡 匠・古内 栄一・高田 勝・山川 守・加藤輝代子・梅林 力・

下謝名松栄・永井 均・蓮沼 克巳・松浦 佑司(2400円)。

昭和64年(1989年)度

小針 廣・高田 勝・小澤 實樹・梅林 力・下謝名松栄・蓮沼 克巳。

寄付

高田 勝様(600円)。

△員移動

(住所変更・転居・改称)

小針 廣: 〒300-42 茨城県つくば市北条48 (住居表示変更)

(退会)

会費未納による自然退会(規約4-II b適用)

石塚 利一・大野 哲・大野 経明・相良 淳一・佐藤 幸生・須田美代子。

事務局(会計を含む) 〒221 神奈川県横浜市神奈川区片倉町199 熊田 審一
領収証の必要な方は振替用紙通信欄にその旨お書きください。

付録のSCRAP資料の提供者は、吉村有紀氏、尚、スズメヒグモの記事
は、梅林力氏からもいたしました(朝日新聞7月23日、下の写真は掲載
されていない)。



九州大学農学部昆虫学教室の教務員、大熊千代子さん(五十)は写真、福岡市博多区千代五丁目で「アシナガクモの研究」で、このほど農学博士になった。

れてニンジン畑の草むしりをしていたとき、巣を張つていたのがアシナガクモ。体長わずかに十ヶぐらいい。か細い体だが、体の三倍もある長い脚、カマキリのオノのように見える異様に大きな上アゴ。それま
後になると、九大昆虫学教室勤務の事務の女性が退職したことから、招かれて教室に駆けつけ、勉強した。その後に入つた。以来、結婚話にも見向きもせず、クモ一筋――。

大熊さんの研究成果の一

「学問の世界で、他人の研究の間違いを証明することは、非常に難しい」（指導した平嶋義宏九大教授）だけに「ヤボニカ」を訂正するのに大熊さんは「十年

研究の“虫” 女クモ博士

女性のクモ
研究者は珍しく、教務員という研究室を支える地味な仕事をしながらの努力が博士論文に実った。



大熊さんとクモの出合いは四十年前。両親に命じて

旧制女学校を卒業後、福岡県職員となり、土曜の午後は学園期の遅い「ヤボニカ」はサ」と同種と判明。命名時

から、半分以下の六十八種に減った。

大熊博士は「周りの人の励ました」と語り、論文が教授会の審査をパスしたことだ。が心の底からうれしそう

西

珍種のタイリクコモリグモ

野

国内生息を初確認

長

中

昭和63年(1988年)4月13日(水曜日)

【松本】長野県南安曇郡豊

生息していることが分かつ

た。日本蜘蛛(ぐも)学会は

発見したのは同町田沢のク

ラフト店経営上嶋順さん

(三十七)。昨年六月、田沢橋上流

珍種・タイリクコモリグモが

予定の「写真日本ぐも類図

の中州でチドリが大きなクモ

科町の犀川に、四十七年前千
島列島で確認されて以来日本
国内では未確認だったクモの

「学術的に貴重な発見」と評
価、近く地元の学会員が発刊

北大の斎藤三郎博士が千島列
島で発見し、タイリクコモリ
グモ(和名)と命名、以来、

世界中のどの文献にも記され

ていなかつたが、千国さんが

初めてレンズことづえた。

を捕食しているのに気付き、
クモを採集。蜘蛛学会評議員

た。その結果、主に北欧に分

布し、わが国では昭和十六年

クモは雄が全長十五ミリ、雌が

千國安之輔(せんごく あんしょく)=同町農
科=に持ち込んだ。

千国さんは初めて見るクモ
に驚き、同学会員でコモリグ
モ科の研究者田中穂積博士=

十三ミリ。白色に鮮やかな黒色
の花模様が付いているのが特
徴。これまで生態については

これが分かつた。

大阪市在住=に鑑定を求め

た。北大の斎藤三郎博士が千島列
島で発見し、タイリクコモリ
グモ(和名)と命名、以来、

世界中のどの文献にも記され
ていなかつたが、千国さんが

初めてレンズことづえた。

発見されたタイリクコモリ



国内で初めて発見されたタ
イリクコモリグモ=千國安之輔さん撮影

ハナヒツジ

(1) 第746号 (昭和48年7月18日第三種郵便物認可)

朝日新聞の姉妹紙

毎週土曜日発行

アサヒ タウンズ

多摩版

(1部45円) 郵送購読料 半年1500円
振替口座番号 東京4-47617

◎発行所・アサヒタウンズ本社 0425-25-4811(代表)
〒190 立川市曙町2丁目1番1号ウイル902(9階)

これだけに、観察されるとその場でアルコール標本にして持たざるが、習性や生活は未知の部分がほとんどだ。今年、春から夏にかけて、東京蜘蛛学会評議会の新海一さん(39=国分寺市本多1-6)が五日市でムツトゲイセキグモを密着観察した。謹の行動により、習性の一部を解明。8月の東京蜘蛛学会で発表して注目された。

ムツトゲイセキグモのメス。何やら化石的だが、名前のイセキは発見者名

発行部数

195,000部

本紙のおもな配達地域

八王子 立川 河原 岩淵 小金井 小平
日野 東村山 国分寺 国立 田無 複生
東大和 東久留米 武蔵村山 多摩 秋川
羽村 瑞穂 日の出 五日市 奥多摩 檜原

力ワボイの投げナワよろしく、細い糸の先端につけたネバネバする丸い玉を振り回し、獲物を捕る「トモラス」などもいる。コガネグモ科のイセキグモ類。世界に9種、日本にはムツトゲイセキグモとマメイタイセキグモの2種が確認されている。その習性のおもしろさとともに、頭数が多いことから、多くの研究者の間では生産性においては非常に高いことがない。しかし、トモラスは、たとえ食われる超珍品の貴重種。それだけに、観察されるとその場でアルコール標本にして持たざるが、習性や生活は未知の部分がほとんどだ。今年、春から夏にかけて、東京蜘蛛学会評議会の新海一さん(39=国分寺市本多1-6)が五日市でムツトゲイセキグモを密着観察した。謹の行動により、習性の一部を解明。8月の東京蜘蛛学会で発表して注目された。

クモを観察中の新海さん

謎の生態を明らかに

ムツトゲイセキグモ

新国分寺さんの
新海さん

昭和62年9月19日 土曜日

メンズブティック

carven Prêt-à-porter
YVES SAINT LAURENT
diffusion business petit...

サカモト

〒192
東京松八王子市横山町12-10
☎0426-25-2536

ムツトゲイセキグモの卵のう。糸を何重にもかけ、しっかりと固定している



ユ

モラスな捕獲行動

者、僕は蝶が専門だ。しかし、新藤さんが興味したムツ クモの系図には、合理的で省 エネ型。廻り物がかかる方

と比較的果樹の多い環境といふことだ。

糸とどうでない糸があり、目的別に使い分けている。粘球には握り力があり、獲物をつかんで放さない。粘球がいいでない糸は、クモが移動したりトラ下がつたりする時に使う。ムツトゲは、空中に糸を振り、脚でアラ下がりながら

トケは、シンキンボミー・トウを物かけていた。すると、待てども、のオスばかり。「かなり好き」多くのクモたちに比べてかなり穢いが激しい」という。糸のなり和極めて、一クモ仲間でも

新海さんは、昨年9月、
本野鳥の会理事でクモの

を最も引き出す。次にその糸をたぐり寄せて、小さな粘球

りの勢いで回転させ、蝶を誘引して捕獲する。その回転航行は羽だけだ。

た際、卵のうを見つけた。その場所は、萬葉さんが「くな

で貴珠のよう。第2脚の先
から垂らし、獲物を持つ

アメイタは最後、約20頭しか採取されねらず、「数年、四角ではほとんど発見されない」と、思いました。非常に感動的。

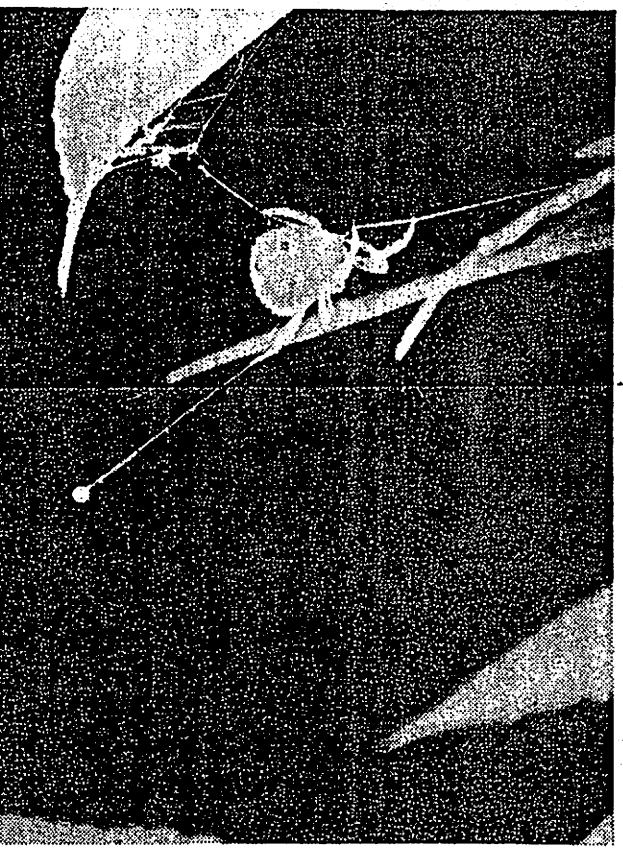
所でもある。椎の葉の中に隠
れるようた造られていたまん
丸い卵のうのいくつかを持ち

「彼女たちは非常に敏感で
ちょっとした刺激にも反応し
粘球を回転させる。イタズラ

卷之三

100

イ
一)
れてみたとこ



獲物が近づいて来た！ 粘球を回転させるムツトゲイセキグモ（写真は、いずれも五日市町で新海さん写す）

1050種が確認されてい
る。日本をエサにするクモは、
昆蟲の進化、分化に適応し、
自分たちも生活の場や捕虫法
を好みに変化させて来た。
少ない。皆は、高齢、年長、
裸ひだり、7~9月) 成体に
が採取されたのは10回ぐら
い。南方系のクモで、イン
シキモチの子ケモを同じ場所に放した
のは、今年4月。新潟さんの
五日市通りが始まった。

道具使いの巧者

が採取されたのは10回ぐらの子タガを同じ場所に放した。南方系のクモで、インのは今年4月・新潟さんのド・マレーシアなどに分布し五市辺りが始まった。ているが、その記録はやはり少ない。昔は、福岡、高知、綾波で、60年代からは、愛媛、大阪で、70年代になると。オスは約2ミリと小さい間隔で、ちぎれちぎれで、よく見つかる。このように、過去20年ほ

のつを造ったメスは、10月下旬姿を消す。親の時代は約半年だ。ふ化したばかりの子グモの餌は何か。オスの捕虫行動も未解明だ。粘球で、オスの雌だけがなぜ誘きされるか不明だから云つていいよ。

その象徴的なものが、道さんは徐々に北上していくのを「としての系」。「地球上の生では」と推測する。だが発見場

の子グモを同じ場所に放したのは、今年4月。新海さんの五日市通りが始まった。子グモは、7～8回脱皮を経り返し、7～9月に成体になる。オスは約2㌢と小さいため、過去、発見されたのはわずか1回とか。メスは8～10㍉。卵は黒。腹部は灰白。同じような誘引物質を出し、のうを遁ったメスは、10月下旬には、姿を消す。親の時代は約半年だ。ふ化したばかりの子グモの餌は何か。オスの捕虫行動も未解明だ。粘球だ、オスの雌だけがなぜ誘引されるかも明らかになっていない。

所は限られており、神奈川県
で1カ所、千葉県で2カ所、
東京では豊田市町と南葛西で
2回ずつ。南葛西では今年に
入って、3年振りに発見され
た。共通しているのは、里に
生息する生物は、人間以外にはアモ
エビで、アマエビの生態を観察する
だけでしょう」と新海さんは語る。
なかでも、太さ0・5ミリメートルのア
マエビが、これまでに見つけられた中で

頭胸部は褐色だ。尾間、葉裏で身を隠していたムツケは、蝶類が活動を始めた午刻5時ごろ行動を開始する。いよいよ粘球作りだ。クモの糸には粘球がついている

オスを誇つて、この大学院がアメリカにおなが、日本での歴史がじぶんのいた。新海さんの研究は、純についたばかりだ。

1988年(昭和63年)7月23日 土曜日

享月 一 築行 ䷰ (夕刊)



死闘！スズメとクモ

緊張の一瞬

曲が生れただくべきで、今年
生まれた姫恵。宮崎までの恩が
忘れないのが、姫のエサ合
に仲間と飛来し、ねこじろうに
エサをひこせたところ。「説明
や西の下の文様が同じで、助け
たバズズと間違いない」と、バ
ズスの訪問を樂しみとしてい
る。

られていた直條、八十半どの渠にスズメがかかる。あくびスズメにクモは糸を巻き出しながらの攻撃。高崎さんが三行マだけ写したあとスズメを放出し